

■ 6月に入りました。

第1回目の模試が終わりました。点数はいかがでしたか？2択で悩んだ問題はしっかりと復習して、本試験に生かしましょう。問題文はしっかりと読めましたか？

正答率が40%を下回る問題は無視して構いません。3時間解いた問題は自分の理解できていない箇所を明らかにしてくれます。せっかくなのでしっかり復習しましょう。

毎日が時間との戦いだと思います。受講生の皆さんはそこに工夫を施してください。

5分あれば問題は5枝解けます。10分あれば選択式1問解けます。

1.に基本 2.に基本 3.に基本です。基本とは法律条文です。奇問難問は、おもいきりゴミ箱へ捨てましょう。基本知識をしっかり身に付け本試験に向かいましょう。

6月は横断学習に入ります。現在の科目は理解した。ところが他の科目にも似たような部分があった。「あれ？この表現どこかで見た。似ていがどこか異なる」これを解決するのが横断学習です。不服申立。通則。時効。国民年金と厚生年金の給付の横断です。

★横断のポイント

- 1.横断講座で知識の総まとめ。
- 2.用語の整理に使用すること。
- 3.通則、不服申し立てや時効、書類の保存はこれで押さえる。
- 4.国庫負担、保険料もこれで完璧。

すべては8月の本試験のために

■本試験で合格。

1.比較的簡単といわれている個所は絶対に得点にする⇒甘さと油断は大敵。だれでもできる問題、得点しなければいけない問題は合否のポイント。

2.たくさん問題を解き相手のくせを見抜く⇒問題自体に慣れる事。過去問題集を繰り返し解いていると傾向がわかるようになります。

3.間違えたら二度と間違えない。できる。できない。含む。のぞく。はしっかりと理解して押さえましょう。

■サンドイッチ学習

1日に2科目をやる。朝の電車は労災。帰りは国年。1日に異なる科目をやると科目間の違いや用語にも慣れ、本番の試験向きの頭の使い方ができるようになります。

■直前期の勉強の仕方

1 繰り返すこと

例えば10の暗記をする場合、1日を使い時間をずらして3回同じことを暗記する。次の日に新しい10個と昨日暗記した内容を再度暗記する。繰り返す。3日後検証する。暗記できたものは省き、残りを再度暗記する。この方式により短期で記憶した内容を、長期記憶に移行することができます。

2.間違える箇所はいつも同じである。

問題演習では2つに答えが絞れます。答えになる部分は、幹です。もう一つの設問は、ぶら下がる枝葉です。これをセットで押さえれば、幹の上に枝葉が乗り記憶力が倍増します。

3.まちがえノートにまとめる。

あとで探すのは大変なので、あやふやな問題は破ってノートに貼りましょう。

4.正解枝にこだわる

本試験では難解な問題と簡単な問題が交差します。A B C Dは難解でEは簡単。ところが受講生は難解な個所へ引きずられてしまいます。「答えが解けさえすれば、構わない」と開き直りも効果的です。

5.過去問は答えから見る

限られた時間の中で最も効率的に点数を取りに行くためには、答えと、誤りパターンの学習も大切です。過去問を解く際は、先に過去問の答えを見ましょう。

■初級クラス・中上級クラス

■合格講座

6月22日(土曜)	白書①②
6月21日(土曜)	横断①②
6月22日(土曜)	白書①②

★直前対策強化

6月15日(日曜)	選択式予想①②(別売り)
-----------	--------------

■再受講生

★中上級講座(休日クラス)

6月1日(日)	厚年①②	10時30～16時30
6月7日(土)	厚年③④	10時30～16時30
6月8日(日)	厚年⑤	10時30～13時
6月8日(日)	厚年確認テスト	14時～16時30
6月8日(日)	厚年予想答練	17時～19時30
6月14日(土)	解き方講座 社一①②	10時30～16時30
6月15日(日)	解き方講座 選択	10時30～13時
6月21日(土)	横断①②	10時30～16時30
6月21日(土)	社一①	17時～19時30
6月22日(日)	白書①②	
6月22日(日)	社一②	17時～19時30

★中上級講座(平日) 19時～21時30

6月2日(月)	社一①
6月3日(火)	社一②
6月4日(水)	社一③
6月9日(月)	社一④
6月10日(火)	社一確認テスト
6月11日(水)	社一予想答練
6月13日(金)	実力確認模試
6月16日(月)	選択式解き方
6月17日(火)	白書①
6月18日(水)	白書②
6月23日(月)	横断①

6月25日(水)	横断②
6月24日(火)	改正①
6月26日(木)	改正②

直前対策強化	(別売り)
6月15日(日曜)	選択式予想①② 14時~19時30